

公益社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
平成22年度第6回議事録

日時	平成22年12月10日(金) 14:00～17:00					会場	文京区シビックセンター	
委員長	村田 芳信	○	幹事	原 忠	×	幹事	秦 樹一郎	○
委員	王 林	×	委員	伊藤 和也	×	委員	枡尾 健	×
委員	舟橋 景介	×	委員	北田 貴光	×	委員	今井 優輝	○
委員	水野 健太	×	委員	長屋 淳一	○	委員	渡邊 康司	○
委員	野末 康博	×	委員	山川 優樹	×			
事務局	永田 満枝	○						
○:出席 ×:欠席 △:未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者（別添資料1）

秦委員が指名された。

2. 前回議事録の確認(10/25)(資料-1)

前回議事録(北田委員担当)が承認された。

3. 第1回理事会(11/26)議事録案(資料-2)

村田委員長より、第1回理事会の概要について報告があった。

4. 図書出版作業進捗状況(資料-3)

事務局より、報告があった。

5. 平成22年度講習会収支報告(資料-4)

事務局より、10月実施講習会(6講習会)の以下に示す収支報告があった。

- ・粗収支差の予算と実績の差がマイナスの講習会があった。
- ・実績の粗収支差はすべての講習会がプラスである。

6. 平成22年度開催講習会アンケート集計結果

(資料-5)

担当委員または事務局より、アンケートの集計結果と来年度への展望などの意見があった。

その他、他支部の講習会の内容を確認して、今後の本部の講習会のあり方を検討する方針とした。

(1)第1回実務者のための土と基礎の設計計算演習(2010年10月4,5日)

- ・講習内容が基本から応用まで幅広く、若年層のレベルによっては難しい(満足度が低い)かもしれない。
- ・土木系の技術者が多いためか、建築基礎講習会の満足度が低い。
- ・今回、オンデマンド化したが、ライブで演習ができることから、来期も継続するのが望ましい。

(2)地盤の動的解析-基礎理論から応用まで(2010年10月14日)

- ・アンケートにやや不満がある。基礎から応用までが範囲のため、受講者レベルによっては難しいと想定される。
- ・今年で3年目であるが、受講者数が多く、来期も継続するのが望ましい。
- ・動的講習会は3テーマあるので、それぞれでレベルがわかるように会告で明記するのが良い。なお、それぞれの内容を確認するために、同様なテーマは同一委員の担当が望ましい。同じテーマの開催時期については、初級編を早期に実施して、中級・上級をその後に配置するのが望ましい。

(3)海外工事・国際協力(2010年10月15日)

- ・講習会より講演会とすべきである。
- ・木村先生より、若者向けの内容が良いとの意見があった。
- ・年度毎にテーマを変えるのが望ましい。

(4)第2回実務者のための土の基礎の設計計算演習(2010年10月18,19日)

- ・昨年にオンデマンド化したためか、参加者が少なかった。
- ・開催時期が「第1回実務者のための～計算演習」から間がないため、参加者が少なかったのかもしれない。

(5)わかりやすい構造物基礎(2010年10月21,22日)

- ・後援が多いことから、非会員の参加者が多かった。
- ・講習では設計の詳細までを説明しない内容としている。その点を会告などで明記できれば良い。

(6)軟弱地盤における地盤変形解析の実務と解析(2010年10月28日)

- ・受講者レベルが中・上級ではない。
- ・他の類似する講習会で講習会レベルを調整し、さらに講師との調整が望ましい。

7. オンデマンド講習会 WG 報告(資料-6)

- ・支部での講習会・会費を確認して、オンデマンドの支部展開を検討する。
- ・オンデマンド映像を用いた講習会を開催してはどうか。

8. 12/2 開催埼玉県建設コンサルタント技術研修協会主催技術講習会(資料-7)

- ・本部講習会と同様な内容で実施した。
- ・共催の場合、総務部が担当している。
- ・同様な内容で本部と支部で会費が異なるのは問題。支部ではテキストを利用してない分で安価となる。
- ・この講習は、共催であるが地盤工学会会員の参加が少ない。
- ・今後、提供する講習会内容を検討する必要がある。たとえば、講習を提供する代償として、学会本をテキストとして購入してもらうなど、販売促進を兼ねるように調整したい。

審議事項

1.平成22年度技術講習会進捗(資料-8)(別添資料2)

- ・「特殊土の基本的性質」講習会の会告を承認する。なお、クラスは初級ではなく、中級以上とする。
- ・「施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画講習会」は3月実施予定で日程調整中。
- ・「地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために-地盤工学からの提言」は龍岡先生に了解済み。他の講師とは調整中。
- ・以下の講習会は来年度に繰越しとする。
「宅地地盤の耐震技術講習会」「近接施工法(仮題)」
- ・以下の講習会は進捗不明にて、事務局より担当委員に連絡・確認する。
「基礎・地中構造物の災害事例と防災・減災技術講習会」「地盤災害の復旧事例」

2.平成23年度講習会開催について(資料-9)

今後の講習会費用について以下のような意見があった。

- ・講習会費用が高いとの意見があることから、費用設定を講習会レベルなどに合わせて、柔軟に対応できるようにしたい。たとえば、「実習・演習ありは高くする」「クラス(上・中・初)に応じて費用区分」「講師(出版著者)の希望金額に配慮」「講演会は安価に」など。
- ・講習毎に設定されているクラスを基にして、以下のような金額区分(表中の○印)にできるか検討する。

クラス区分	実習・演習	講習	講演
上	○	○	×
中	○	○	×
初	○	○	×
その他	×	×	○

- ・金額設定にあたり、各講習会であるべき参加人数を設定するのが望ましい。
- ・支部開催の講習会の内容・費用を調べる(委員長)。
- ・過去の講習会費の変遷と改定の理由などを調べる(事務局)。
- ・技術普及委員会と出版企画委員会で密な調整が必要。
- ・学生会員が継続して学会員になるような取り組みを事業部として検討したい。

- ・東京都より来年度の講習会の問い合わせがあった。現時点の予定(資料-9)を提示する。また、学会ホームページに来年度の講習会予定を掲載する。

次回委員会開催日 平成23年2月10日(木)

於:地盤工学会 地階A会議室